

ほけんだより

2012・9・24

和歌山市立四箇郷北小学校

9月24日(月)から「朝びかポイント」がはじまります。

自分のけんこうのために「朝びかポイントをためよう」

朝ごはんをしっかり食べて、朝ごはんパワーで元気いっぱい運動会にしよう。

★びかポイント預金通帳の表紙の絵を書いている人は書いてね。

★ほけんだよりに絵をのせさせてね！

おうちの人にも見てもらって(サインをもらう)

10月2日(火)に提出してください。

黄色	赤色	緑色
熱や力となる	血や肉や骨となる	体の調子を整える

保護者様へ おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)に注意してあげてください！！

どんな病気?

ムンプスウイルスの飛沫感染(ひまつかんせん)により耳下腺炎や顎下腺炎を起こすため、顔がおたふくのように腫れるため「おたふくかぜ」とも呼ばれています。子供に多く、両側の唾液腺が腫れ、発熱や疲れ、だるさなどの全身症状が強く現れる。片方だけの耳下腺が腫れたり、顎下腺だけが腫れることもある。

耳下腺とは?

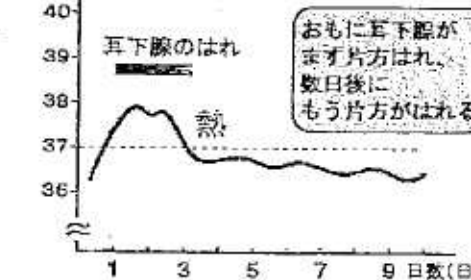
唾液を分泌する唾液腺の1つ。耳の下にある「耳下腺」、あごの下にある「顎下腺(ガクカセン)」、舌の下(口腔底)にある「舌下腺(ゼッカセン)」の3つからなっています。唾液は常に分泌されていて特に食事をするとき唾液の分泌が促されます。

原因は?

ムンプスウイルスによる全身感染。おたふくの患者からの飛沫感染(患者の咳やくしゃみなどでウイルスが飛び散りそれを吸い込むことでおこる感染)で感染します。ウイルスは口・鼻から進入し、気道の粘膜で増殖した後、血液中に入り、全身に広がって、耳下腺・顎下腺に病変を起こします。感染させやすい時期は、耳下腺が腫れる1週間前から発病後10日くらい。

症状は?

おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)のおおよその経過 2~3週間の潜伏期のあと、発熱・頭痛・耳下腺の腫れで始まります。



耳を痛がったり、食事の時に口を開けるのを痛がったりします。ほぼ同時期に両方の耳下腺(耳たぶの前下方から後ろにかけての皮膚)が腫れ、押すと痛むようになります。まず片方が腫れ、2~3日後にもう片方が腫れてくるのが全体の75%で、残りの25%は片方だけが腫れます。顎下腺(顎の下)だけが腫れたりすることもあります。この場合でも免疫はできます。腫れは1週間程度で軽快していきます。耳下腺が腫れる前に熱が出ることもありますが、熱がなく耳下腺だけが腫れることもあります。約過半数に耳下腺の腫れと同時に38~39°Cくらいの発熱が見られます。3日目くらいに腫れも熱も最大で、その後3日~1週間くらいで治ります。

学校感染症...学校感染症証明書を提出して下さい。

耳下腺の腫れがなくなるまではウイルスを排出し、他人に移す可能性があるため、登校は禁止です。登校する際には、医師の許可を得て「学校感染症の証明書」を学校へ提出して下さい。